

平成31年度



白川小だより

第12号

令和2年2月28日(金)

「温かくたくましい心」を新たな伝統として

校長 奥村 哲也

今年になって、二つの表彰を受けました。

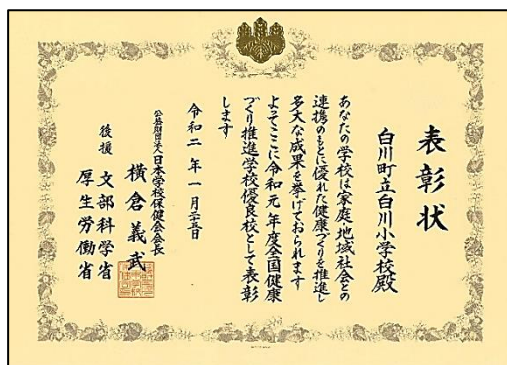
一つは、「全国健康づくり推進学校優良校」の受賞です。歯と口の健康づくりを中心とした、これまでの取り組みが認められ、県内5校のうちの1校として、日本学校保健会より1月25日に賞状とトロフィーをいただきました。歯と口の健康づくりでは、昨年11月に第60回岐阜県歯科保健優良校表彰において「小規模校の部奨励校」としての表彰も受けています。

もう一つは、可茂地区学校図書館教育賞「最優秀賞」の受賞です。読書指導の充実とともに、読書センター・学習センター・情報センターとして整備された図書館機能が評価されました。1月30日に本校で表彰式が行われ、賞状とトロフィーをいただきました。

「表彰」という目に見える形で、本校が大切にしてきた教育活動が評価されることはうれしいことです。自信になるとともに励みとなりました。

さて、先日行われた統合にかかわる保護者説明会において、新白川小学校がめざす姿が示されました。「知＝主体的に学ぶ子」「徳＝励まし助け合う子」「体＝進んで体を鍛える子」の育成を柱とし、「図書館教育・読書活動の充実」「望ましい集団づくり」「歯と口の健康づくり」が教育活動の重点として掲げられています。「図書館教育・読書活動の充実」「歯と口の健康づくり」は、伝統として、新白川小学校に引き継がれていくことでしょう。

「望ましい集団づくり」については、より丁寧な取り組みが必要になると思います。4月から子どもたちは、新しい環境で、新しい仲間と一緒に学校生活を送ることになります。思いやりの心を高めたり、仲間とともに活動する力をつけたりすることを通して、どの子ども笑顔で楽しい学校生活が送れるようにしなければなりません。不安や悩みを一人で抱え込まないよう教育相談の一層の充実も求められます。



2月21日(金)に「8の字跳び大会」をおこないました。このひと月の間、子どもたちは、休み時間や下校前のわずかな時間も惜しんで練習に取り組みました。引っかかっては励ましあい、記録を更新しては喜び合う子どもたち。中には、跳ぶことが苦手な子のために縄を回す速さを調節し、声を掛け合ってリズムをとる姿がありました。だれもができるようにと仲間を思いやり、自分たちでやりきろうとがんばりました。

この「温かくたくましい心」を新たな伝統として新白川小学校につなぎたいと思います。